

北海道農政事務所の事務・事業と連携した事例収集

取組名 : 新・ご当地グルメグランプリ北海道2011 in オホーツク北見
取組主体 : 同実行委員会 (食による観光まちづくり推進協議会主催)
所在地 : 北見市
代表者名 : 梶井敏幸 (同協議会副会長)

1 取組の目的

平成22年3月に道内14市町と栃木県那須町、宮崎県日南市の16団体が「食による観光まちづくり推進協議会」を設立。人口減少時代にあつて交流人口を増やし地域を元気にすることを目的に「食による観光まちづくり推進運動」を展開、地産地消を前提とした企画開発型「新・ご当地グルメ」の普及推進等に取り組んでいる。

2 取組の概要

新・ご当地グルメの普及推進には「連帯と競争」の仕組みが必要。その取組を具体化したのが「新・ご当地グルメグランプリ北海道」。昨年初めて上川管内美瑛町で道内協議会参加団体が一堂に会し開催され、来場者1万2千人の食イベントとして成功を収めた。

平成23年7月2日～3日に北見市端野町で開催された「新・ご当地グルメグランプリ北海道2011 in オホーツク北見」は昨年に続く第2回大会。地元「オホーツク北見塩やきそば」をはじめ全道各地から13団体自信のご当地メニューが集結した。各メニュー1食400円～600円で販売し、来場者が「味」や「価格満足度」を5段階で評価し投票する。さらに販売食数も加えて順位を決定する仕組み。

当日は好天に恵まれ2日間の来場者は全道各地から約2万2千人訪れた。

審査の結果、グランプリは「別海ジャンボホタテバーガー」で昨年に引き続き2連覇を達成。また地元の「オホーツク北見塩やきそば」も3位と奮闘した。

3 今後の取組目標

来年の第3回大会は2連覇を達成した「別海ジャンボホタテバーガー」の地元、別海町で開催する予定となっている。北海道の食イベントとしてさらなる発展と定着を図りたい。また、今回の地元開催で上位入賞した「オホーツク北見塩やきそば」をはじめ、北海道からも一部のメニューが10月秋田県横手市開催の「北海道・東北B-1グランプリ」や11月に兵庫県で開催される全国規模の「第6回B-1グランプリ」などへの出場を目指している。地元での消費拡大をさらに進めて行き、新ご当地グルメが呼び水となってそれぞれの地域で交流人口が増加するよう取組を継続していきたい。

4 取組の課題

サンプル調査の結果から来場者の構成は北見市・オホーツク管内で約8割、その他道内・道外が約2割となっており、管外からの来場者がやや少ない印象。来年は別海町での開催が予定されていることから広域な北海道だが開催地以外から多くの方が来場していただけるよう、魅力あるイベントにしていきたい。



会場の様子①



会場の様子②

事例収集者：北見統計・情報センター
連絡先：0157-23-4037